

目次 Contents

- | | |
|------------------|------------------|
| 3 地域おこし協力隊通信 | 16 新・下野市風土記 |
| 4 みんなで守ろう！子どもの笑顔 | 17 国民年金だより |
| 6 令和2年の奨学生を募集します | 18 図書館だより |
| 7 レッツスポーツ | 20 ゆうがおバスマップ |
| 8 まちの話題 | 22 障がい福祉瓦版 |
| 9 敬老会を開催しました | 23 暮らしの情報 |
| 10 保健便り | 38 11月のカレンダー |
| 12 環境トピックス | 39 国際交流員カロリンのコラム |
| 13 秋の火災予防運動 | 40 イベントカレンダー |
| 14 生涯学習だより | |

今月の表紙

ゆうがおバス出発式

今月の表紙は、1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」の出発式の様子です。1市2町のゆるキャラたちも集まり、バスの門出を祝いました。(右からカンピくん・上三川町のかみたん、壬生町のミーナ)

ゆうがおバスは、下野市・上三川町・壬生町を東西に結ぶ交通ルートとして、10月1日から運行を開始しました。石橋駅を起点として、自治医科

大学附属病院、獨協医科大学病院などの大きな病院や、JR宇都宮線、東武宇都宮線といった鉄道の駅などをつなぎます。

運行ダイヤや運賃を盛り込んだバス運行マップが、見開きで20・21ページに掲載されています。

ゆうがおバスが地域の皆さまに愛され、誰もが身近に利用できる日常生活の足となるよう運行していきます。ぜひ、ご利用ください。

今月の何の日

11月14日 世界糖尿病デー

糖尿病は、世界中で4億1,500万人が抱えている病気です。かつては、発症したら数日から数か月で命を落とす死の病でした。

11月14日は、糖尿病治療の救世主となったインスリンを発見した、カナダの医学者、フレデリック・バンティングの誕生日です。

バンティングは、研究とは無縁の開業医でしたが、あるとき、すい臓の仕組みと糖尿病の関係に着目し、すい臓の中に糖尿病をふせぐ物質があるのではないかと、という仮説を思いつきました。母校トロント大学の教授をなんとか説き伏せ、教授が夏休みで留守の間、研究室を借りることができたバンティングは、大学院生ベストを助手に、犬のすい臓から謎の物質を取り出す実験を開始しました。

そして、試行錯誤の末、10週間後の1921年7月27日、彼らが犬のすい臓から抽出することに成功した謎の物質こそ、インスリンだったのです。

バンティングは、インスリンに関するすべての権利を、たったの1ドルでトロント大学に譲渡しました。やがて大量生産が可能になったインスリンのおかげで、死を待つばかりだった多くの糖尿病患者が救われました。

インスリンの発見により、バンティングは1923年、ノーベル生理・医学賞を受賞しました。

インスリンが発見されて約100年の今も、世界のどこかで6秒に1人、誰かが糖尿病によって引き起こされる合併症などで死亡しています。たとえ自覚症状がなくても、早期の治療が肝心です。

■人口と世帯 (10月1日現在)

人口/60,148人 (-28)、男性/29,870人 (-11)、女性/30,278 (-17)、世帯数/24,204世帯 (-24)

下野市公式
ツイッター

市ではホームページの最新情報や、災害発生時の避難場所などの情報配信を行います。右のQRコードからアクセスできます。

下野市公式アカウント @city_shimotsuke

